

第2節

## 教育・保育課程及び指導計画

教育・保育の質向上のためには、指導計画の作成と実行、見直しが重要である。幼稚園・保育所・認定こども園のいずれも9割以上が教育課程・指導計画（期案・月案）を作成している。

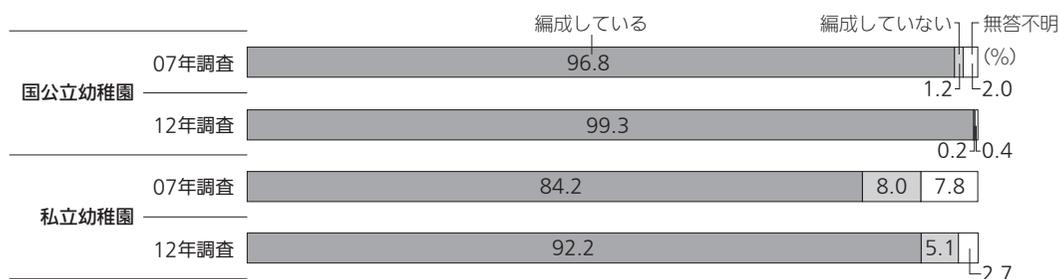
本節では、教育・保育課程の編成についての現状を紹介したい。まず、07年との経年比較ができる幼稚園について、教育課程の編成状況を示したものが図2-2-1である。国公立幼稚園では、12年は99.3%と、ほぼ全園が教育課程を編成していると回答している。07年も96.8%であり、以前より、国公立幼稚園では教育課程が編成されていたことがわかる。私立幼稚園については、07年では編成している園は84.2%であったが、今回、92.2%と8ポイント上昇した。

次に、12年の結果について、園の区分別にみたものが図2-2-2である。12年調査では、課程を編成するだけでなく、毎年、見直しをしているかどうかもわかるようにきいた。園の区分を問わず、教育・保育課程の編成は、ほぼすべての園で行われているが、見直しについては、国公立幼稚園の6.8%、

私立幼稚園の33.6%、公営保育所・私営保育所・認定こども園の約4園に1園は、「毎年は見直していない」と回答している。

図2-2-3は、12年について、指導計画を作成するだけでなく、毎年見直しているかどうかもたずねた結果である。教育・保育課程の編成と同様、指導計画についても園の区分を問わず、ほぼすべての園で作成されていることがわかる。見直しについては「毎年は見直していない」園は、私立幼稚園がもっとも多く14.0%であった。指導計画について、12年調査では、作成と見直しの状況の把握に留め、期案、月案、週案、日案、行事案などの詳細までは調査していない。詳細なレベルでの作成状況は、07年調査では幼稚園についてきいており、『第1回幼児教育・保育についての基本調査報告書』に掲載している。

図2-2-1 教育課程の編成（幼稚園・経年比較）



注) 12年調査は、「編成している」は「編成していて、毎年見直している」と「編成しているが、毎年は見直していない」の足し上げ数値。

図2-2-2 教育・保育課程の編成と見直し（園の区分別）

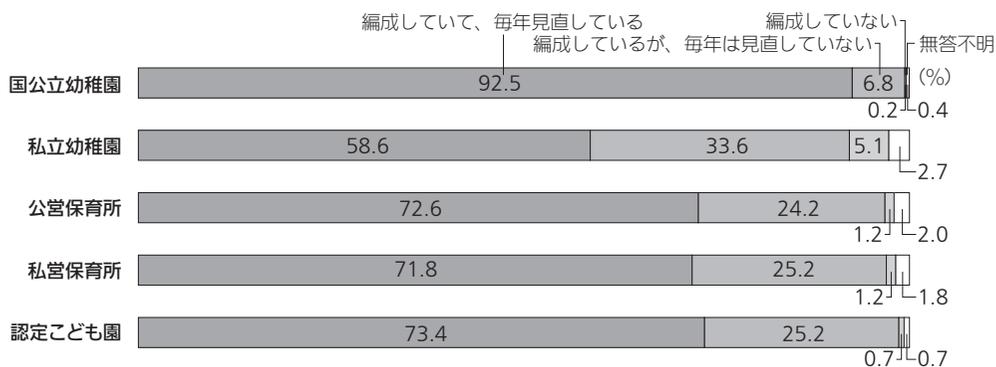


図2-2-3 年間の指導計画（期案・月案）の作成と見直し（園の区分別）

